

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：羽沢保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：後藤 玲子	定員（利用人数）： 120名（140名）
所在地：横浜市神奈川区羽沢町725	
TEL： 045-382-0125	ホームページ：http://www.hazawa.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 1977年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 徳風会	
職員数	常勤職員： 31名 非常勤職員 32名
専門職員	（専門職の名称）保育士 33名 栄養士 3名
	看護師 4名 調理員 5名
施設・設備の概要	（居室数）乳児室 4室 職員休憩室 1室
	幼児室 6室 トイレ 8か所
	事務室 1室 （建物）RC造り2階建て 1棟
	調理室 1室 鉄骨造り2階建て 2棟
	会議室 2室 建物延床面積 842.32㎡
沐浴室 1室 （園庭） 706.13㎡	

③ 理念・基本方針

【保育理念】

「乳幼児の実態に即した望ましい環境を作り、豊かな生活体験をさせる中で心身ともに調和のとれた人間形成の基礎を養う」

【保育方針】

「仏教を基本とした情操教育を基本とし、家庭的な雰囲気の中で、自主性、社会性、創造性を培い、あかるくやさしく、そしてたくましい子どもを育成します。そのために、年齢に即応したカリキュラムにもとづき保育を実施します」

【保育目標】

「健康で安全な暮らしのできる子」
「自分のことは自分でできる子」
「友達と仲良く遊べる子」
「自分から進んで取り組みを工夫する子」
「心情豊かな子」

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

羽沢保育園は、昭和52年4月1日に開園しています。運営法人は社会福祉法人徳風会で、港北区に姉妹園のめぐみ保育園があります。園舎は鉄筋RC2階建て1棟、重量鉄骨造り2階建て1棟、軽量鉄骨造り2階建て1棟があり、建物延床面積は842.32㎡です。園庭は、706.13㎡で大型固定遊具、砂場、鉄棒など備えています。園は、0歳児から就学前児童を受け入れ、定員は120名で、現在140名が在籍し

ています。園へのアクセスは、ターミナル駅の横浜駅西口からバスに乗車、最寄りのバス停羽沢団地前から徒歩数分の場所にあります。近隣は閑静な住宅地と道路を挟んで向かいには畑、園庭の裏には竹藪があり自然に囲まれています。

【園の特徴】

保育方針にある、仏教を基本とした情操教育や行事に力を入れています。園の隣が羽沢小学校で密な交流をしています。全園児が一斉に園庭で遊ぶことが多く、異年齢児との遊びや担任以外の職員との関わりも日常的にあります。

4歳児クラスから週に1度、外部講師による音楽指導、体育指導に加え、小学校への接続を意識して鉛筆の練習や漢字かな交じり表記のある本（日本昔話や世界名作）を音読する活動を行っています。

在園140名の子どもたちが毎日安心した保育が受けられるように、常勤職員31名（うち看護師4名・栄養士3名）、非常勤職員32名の十分な人員配置をしています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年5月1日（契約日）～ 2021年3月19日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2015年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

1. 地域との交流活動

年長児の就学に向け、隣の小学校への学校訪問（学校探検・給食体験など）は、複数の学年と交流があります。中学生の体験学習や高校生ボランティアの受け入れがあります。年2回高校の吹奏楽部が来園し、恒例の演奏会を行っています。園の運動会・秋のクラシックコンサートには地域の人、高齢者施設の利用者、子育てサロン利用者など様々な人を招いており、子どもたちとさまざまな年代の人々が交流する取り組みを積極的に行っています。

2. 業務の実効性を高める取り組みと働きやすい職場環境づくり

効果的・効率的な事務、職員の残業の削減など常に考え、業務の実効性を高める取り組みを進めています。さらに働きやすい環境づくりのため、事務職員を配置し、残業時間の軽減、書式の見直し、クラス通信作成を手書きからパソコン入力にするなど事務体制に改善が見られています。また、看護休暇、小学校以下の子どもがいる職員への休暇取得制度など、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っています。

3. 全園児での日常的な園庭遊び

園庭遊びを積極的に行っています。園庭には大型固定遊具、鉄棒などがあり、進んで体を動かさせます。全園児が一斉に園庭で遊ぶことが多く、異年齢児との遊びや担任以外の職員との関わりも日常的にあります。自然な流れで幼児が年下の子どもと手をつないだり、楽し気に一緒にすべり台を降りたりする場面が見られました。

◇改善を求められる点

1. 期待する職員像の明文化と人材の育成

園の中期事業計画では、目標として「人材育成」をあげています。園の理念・目標を実現させるためにも、期待する職員像を明確化し、一人ひとりの業務目標や達成状

況を記録・管理する目標制度を導入し、外部研修への積極的な参加などにより、職員の育成に取り組むことが望まれます。

2. マニュアル類の整備と見直し

園には、保育の手順書として「羽沢保育園運営マニュアル」があり、危機管理、個人情報保護、健康管理などが定められていますが、別途同様のマニュアルが存在し、整理が必要です。業務の一定水準の確保や現状に即した対応をしていくため、苦情相談対応マニュアル、虐待対応マニュアルなどを含め、各種マニュアル類の定期的な整備・見直しが望まれます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

「第三者評価を受けての感想」

この度、第三者評価を受審し、当園の良い点、課題、今後の方向性などがわかり、職員一同、業務を振り返るよい機会となりました。

今年度はコロナ禍の中で初めて経験する社会の現状に戸惑い試行錯誤しながら、保護者の皆様の理解、協力のもと、予定を変更したり、中止したりしながら何とか保育を行うことができました。

保育園の長い歴史の中で継続してきたことができなくなったり、当たり前と思っていたことが制限されたりと、この先もコロナウィルス収束までは、子ども達や保護者、職員の安全を第1に考えての保育になると思います。しかし、どんな状況下にあっても利用者の皆様が安心して通える保育園でありたいと思います。

保護者の皆様には、お忙しい中、アンケートにご協力頂きましてありがとうございました。また、評価機関のスタッフの皆様には、丁寧に観察、評価頂きましてありがとうございました。

羽沢保育園 園長 後藤玲子

⑧ 第三者評価結果 別紙2のとおり